

**日本語力向上プログラム開発と
バイリンガル・バイカルチュラル人材育成
におけるICT活用の効果はどのようなものか？**

**多文化共生における課題をSociety5.0
の技術で解決しよう！**

～あったらいいなこんなモノ～



学習のねらい

- これからくる**Society5.0**社会での**多文化共生の在り方**について考える。
- 「モノに頼る」のではなく、
「**自ら見つけた課題を解決するモノ（機会）を創る**」という視点をもち、**課題解決学習**に取り組み、**多文化共生・Society5.0**両方の理解を深める。



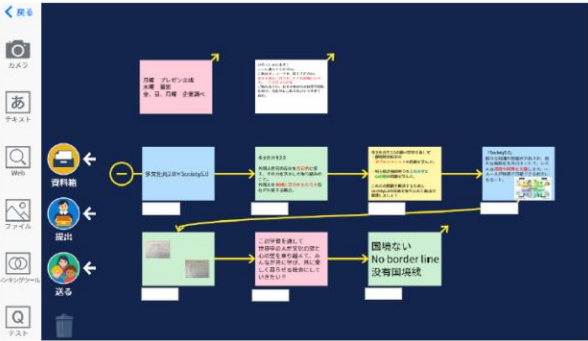
○ プレゼンテーション・動画 (ダイジェスト)



日本で中国人が経営する
お店に思い切って入って
みたけれど…



同時多言語翻訳機



学習を通して

- 言葉でつまづくことがなくなる
→ 文化・心の壁がなくなるのではないか



- オンライン企業訪問で学んだ社会貢献の精神と通ずるものものがある。
今後、キャリア教育にもバイリンガル・バイカルチュアルの視点を取り入れられるなどICTを活用することで学習の広がりを感じた。



ICTを活用した学習活動の課題

- 1 中国語家庭へ説明の難しさや家庭の教育力の差
- 2 教員、児童生徒、家庭の誰もが負担になりすぎない
持続可能な教育支援
- 3 オンライン授業の可能性について





LINES
学ぶチカラを、未来のチカラに

